

# 令和5年度米沢市市民憲章推進大会開催！ 11月11日(土)・置賜総合文化センター

開会に先立ち、米沢ジュニア吹奏楽クラブによる素晴らしい演奏が披露されました。  
その後市民憲章の推進校・推進企業・推進地区から、それぞれが日頃行っている実践活動の発表がありました。

## 米沢市市民憲章 (昭和37年10月26日制定)

### 前文

私たちは、伝統にかがやく米沢市の市民であることにほこりと責任を感じ、この憲章をかかげて教育文化のまち、産業のまち、福祉のまち、観光のまちとして、公德心の高い、よりよい社会をつくることにつとめます。

- 一、教養をたかめ、文化のまちをつくりましょう。
- 一、勤労をたつとび、豊かなまちをつくりましょう。
- 一、互いに助けあい、楽しいまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、公共物を愛し、明るいまちをつくりましょう。
- 一、郷土を愛し、きれいなまちをつくりましょう。

昭和37年、市民の意見を基に米沢市市民憲章が制定されました。市民憲章は、市民生活の道しるべであり、人と人とを結び架け橋です。「朝、あいさつをする」「道端に花を植える」などの日常生活のほんの少しの心遣いが明るく豊かなまちづくりにつながります。

ここでは、市民憲章推進大会から実践活動の一部を紹介します。

問合せ／秘書広報課 広報広聴担当  
☎(22) 51111

### ■実践活動Ⅰ 互いに助け合い、 楽しい興譲小を目指して

興譲小 6年 武田百合子ただゆりこ

今年度、児童会である興友会では、「あいさつのWAーあいさついっぱい」の学校にしよう」「元気のWAー元気に遊ぼう」「仲良しのWAー沢山交流しよう」という3つのスローガンをかけ、様々な活動に取り組んできました。

「あいさつのWA」の取り組みに、「あいさつ運動」があります。正門に立って行う常時活動と、今年度は縦割り班であいさつをしながら各教室をまわる「スマイルあいさつ運動」に力を入れていきます。

「元気のWA」「仲良しのWA」の取り組みに、縦割り班ごと遊びやお店の運営を楽しむ「興譲フェスティバル」があります。たくさん種類の遊びを考えて、協力し準備します。力を合わせ、楽しく遊ぶことで、全校生が仲良くなれることを目指します。

また、今年度新たに始めた活動として「月一パラダイス」があります。もつと全校生が仲良くなつてほしいという思いから、学年を超えてより仲を深めるため、月に1回、全校生が交流する場を設けることにしました。

今後も様々な活動を通して、みんなが学年を超え、より仲の良い学校をつくっていききたいと思えます。そして、市民憲章にもあるような、「互いに助け合う」「楽しい」興譲小を目指していきます。



月一パラダイス

### ■実践活動Ⅱ 米沢品質 自慢の南部ブランドを目指して

南部小 6年 笹木一花ささきいちか

私が通う学校は、上杉鷹山公や上杉謙信公で有名な城下町にあります。周囲には長い歴史のお店や上杉神社があり、県内外の人がたくさん訪れる自慢の町です。そんな町にある南部小は、一昨年米沢品質に登録され、さまざまなことに取り組んでいます。その活動を3つ紹介します。

1つ目は、南部地区や米沢市をよく知り、地域のために学習をしていることです。南部小では「ほぷらタイム」と呼んでいます。

2つ目は、あいさつ運動です。児童会として「居心地がよく楽しい学校にする」という目標を掲げています。そのためにあいさつが大切だと考え、あいさつ運動に取り組みました。恥ずかしくてあいさつができない人もだんだんと気持ちのよいあいさつができるようになってきています。

3つ目は、親切を積極的に行うことです。南部小は、小さな親切推進校に選ばれており、積極的に親切をする児童がたくさんいます。今後も上級生が下級生の手本になり、親切のバトンをつなげられるよう、口頃から親切に接する姿を見せていきたいです。現在南部小は「南部品質 あいさつと親切の学校」となるため頑張っています。米沢品質に登録された活動をもとに、さらに良い学校を目指して活動し、南部品質を高めていけるよう頑張っています。



上級生と下級生が協力して行う落ち葉拾い

### ■実践活動Ⅲ

#### 未来を創る

第五中 3年 佐藤理央さとうりお

私たち五中生は、自分たちの住む米沢が、より明るく魅力的なまちへと変わることを目指し活動しています。また、一人ひとりが米沢市民として自覚を持ち、小さなことでも自分自身の行動から変えていこうとしています。その中で、私たちが市民憲章を意識しながら取り組んでいることは3つあります。

1つ目は、「あいさつ運動」です。はじめは緊張していても、あいさつを通して自分自身が変わること、その場の空気が温かくなったような気がしました。

2つ目は、「花植え」です。中庭の花壇を「花トピア」と呼び、ボランティアの生徒を中心にいろいろな花を植えています。また、プラントナーに植えた花を近くの病院や幼稚園に届けました。子どもたち・施設の人たちが喜んでくれたのでとても心が温かくなりました。

3つ目は、「委員会活動」です。五中では5つの委員会があり、どの委員会も五中を大切にし、活気ある学校にするため活動しています。これらの活動を通し、自分たちが生活しやすい環境をつくることで、周囲の空気が明るく活性化することが分かりました。米沢市立第五中学校は人も環境も大切にできる学校です。今後も自分から変わる意識を持ち、米沢を誰にとっても優しいまちにしていきたいです。



花トピアでの花植え

### ■実践活動Ⅳ

#### 地域に貢献し続ける米東生であるために

米沢東高等学校 3年 後藤梨緒ごとうりお

米沢東高校は、今年で創立125周年を迎えました。私たちは「修誠」を校訓とし、「美しい品性」「高い知性」「篤い至誠」の3つの精神を心掛け、日々の生活を送っています。学習や部活動はもちろん、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

昨年度は、川西町を襲った豪雨災害のボランティアに有志50人以上が参加し、災害ごみの搬出や泥の片付けなどの作業をしました。年末には、フードドライブ活動を行いました。

また、今年度もミニミハラアートウォークに協力し、絵画部の作品展示に加え、書道部員の作品を鑑賞できる場で茶道班がお茶をふるまうという新たな企画の中で、華道班の一員としてステんシルのワークショップを開きました。お懐紙に色とりどりのスタンプで花模様を浮かび上げらせ、自分で使用していただくというものです。幅広い年齢層の方々に楽しんでいただくことができ、人と関わることの大切さも学びました。

米東では、個人や部活動単位で様々な活動にチャレンジしています。一人でも多くの人に元氣と笑顔を届けたいという先輩からの思いを受け継ぎ、地域に誇れる米東生になれるよう今後も努めていきます。



ステんシルのワークショップ

### ■実践活動Ⅴ

#### みんなでチャレンジ！自然いっぱい天元台合宿！

米沢青年会議所

こころ繋ぐ輪ひとづくり委員会委員長 税理士法人 豊 土田敬典とちただけいすけ

本事業は、米沢青年会議所の青少年育成事業として、今回は天元台高原にて1泊2日のスケジュールで、子どもたちに地元の自然を好きになってもらうことと仲間と協力し挑戦する姿勢を身に付けることを目的に実施しました。

具体的には、人形石までのトレッキング、カレー作り体験、キャンプファイヤー、そしてミッションラリー&アート(チェックポイントを巡りクイズに正解するとキーワードがもらえ、それから連想されるお題をアート(絵)で表現してもらうアクティビティ)などを行いました。

事前準備はもとより、炎天下での活動だったため安全に対する配慮や気配りが今まで以上に必要となりましたが、私たちが費やしたエネルギーは子どもたちがしっかりと受け取ってくれて、自然の中での体験学習や仲間と協力するという経験を経て、自主性や協調性を身に付け、将来を担う人材としてたくましく成長する姿が見られました。



天元台高原での合宿

米沢市市民憲章キャラクターニコルさん



米沢四中生徒による市民憲章の朗唱



米沢ジュニア吹奏楽クラブによるアトラクション